

地域再生法に基づく地域再生計画の事後評価

1. 地域再生計画の概要

計画名称	四国のまほろば美馬市再生計画
作成主体	徳島県、美馬市
計画区域	美馬市の全域
計画期間	平成23年度～平成27年度
支援措置	道整備交付金、汚水処理施設整備交付金
認定日等	平成23年3月25日 第18回（平成27年3月27日 変更認定）
計画趣旨	市民の生活や広域交流、市外からのアクセスに大きな役割を果たしている幹線道路と各地に点在する観光拠点や公共施設へのルート整備及び林道との連絡を確保するため、市道の新設・改良を行うとともに、森林へのアクセス確保による森林整備の促進を図るため林道の開設・延長を行う。また、吉野川や清流穴吹川などの水質保全のため、穴吹地区において公共下水道事業を推進するとともに、認可区域外の地域において合併処理浄化槽（個人設置型）の設置を促進することで、汚水処理人口の普及を図る。

2. 地域再生計画に記載した目標の達成状況

	目 標	目 標 値	実 績 値	目標達成度
目標1	年間観光入込客数(平成22年度 53万人)	56万人(平成27年度)	58万人	103.57%
目標2	計画期間中(平成22～27年度)の森林整備面積	1,500ha	1,140ha	76.00%
目標3	汚水処理人口普及率(平成22年度末 42.3%)	49.0%(平成27年度末)	49.8%	101.63%

3. 目標を達成するために行う事業の実施結果

(1) 道整備交付金を活用する事業

施設の種類の	路線名		事業期間	事業量	事業費(千円)	交付金(千円)	実施結果
市道	市道脇町26号線	計 画	H23 ～ H27	L= 1,064 m	65,000	32,500	当路線は、横倉地区の主要幹線道として、市道脇町27号線までの現道拡幅工事を実施している。当初の目的は概ね達成されたが、さらに隣接する川原柴地区への連絡路としての更なる改善が望まれている。
		実 績	H23 ～ H27	L= 1,690 m	106,364	53,182	
	市道脇町47号線	計 画	H23 ～ H27	L= 2,815 m	89,000	44,500	当路線は、市道脇町205号線から脇町70号線までの舗装修繕工事を実施している。当初の目的は達成し、さらに脇町44号線まで延長することで更なる改善が図られた。今後もより一層の整備を図りたい。
		実 績	H23 ～ H27	L= 3,485 m	83,650	41,825	

施設の種類	路線名		事業期間	事業量	事業費(千円)	交付金(千円)	実施結果
市道	市道脇町347号線	計画	H23～H24	L= 692 m	20,000	10,000	当路線は、市道脇町347号線から国道193号を経由し、脇町44号線に至る主要幹線道路であり、舗装修繕工事を実施したが、一部に路面排水未整備区間があったことで、今後も引き続いての整備が必要となる。
		実績	H23～H27	L= 1,087 m	40,004	20,002	
	市道美馬14号線	計画	H23～H27	L= 454 m	75,000	37,500	美馬町切久保地区と正部地区を結ぶ主要幹線路の改良工事である。山間部であり地形的な関係上事業費が増となった。一定の効果はあったが未だ危険な箇所もあることから、引き続き整備を行いたい。
		実績	H23～H27	L= 454 m	83,684	41,842	
	市道美馬359号線	計画	H23～H27	L= 567 m	75,000	37,500	当路線は、美馬町境石元地区の工場・企業が隣接している幹線道路である。そのため、改良工事を実施することで、道路の利便性の向上と通行の安全が図られた。
		実績	H23～H26	L= 338 m	79,500	39,750	
	市道美馬146号線	計画	H23～H26	L= 694 m	40,000	20,000	当路線は県道鳴門池田線から分岐し再び同県道へと合流する旧県道であり、舗装の老朽化による舗装修繕工事を実施した。事業実施の結果、概ね当初事業目標は達成された。
		実績	H23～H27	L= 631 m	34,486	17,243	
	市道美馬198号線	計画	H23～H26	L= 480 m	40,000	20,000	当路線は県道鳴門池田線から分岐し重清東地区へ通じる主要幹線道路であり、舗装の老朽化による舗装修繕工事を実施した。事業実施の結果、概ね当初事業目標は達成された。
		実績	H24～H26	L= 734 m	31,460	15,730	
	市道美馬548号線	計画	H23～H27	L= 724 m	75,000	37,500	当路線は、国道438号から分岐し、美馬町白地地区へ通じる幹線道路の改良工事を実施した。当初の目的は達成し、さらに岡ノ内地区まで延長することで更なる改善を図りたい。
		実績	H23～H27	L= 460 m	114,670	57,335	
	市道穴吹14号線	計画	H23～H24	L= 1,259 m	40,000	20,000	当路線は国道192号から分岐し、穴吹町小島地区へと通じる幹線道路である。舗装の老朽化による舗装修繕工事を実施した。比較的健全な区間を省き実施したが、概ね当初事業目標は達成された。
		実績	H23～H24	L= 1,259 m	19,010	9,505	
	市道穴吹26号線	計画	H23～H25	L= 1,120 m	40,000	20,000	当路線は、穴吹町西山地区内の旧農免農道である。老朽化による舗装修繕工事を実施した。一部計画区間に上水道布設替え予定があるため、一部区間を残し事業の完了となった。
		実績	H23～H25	L= 1,120 m	22,360	11,180	
	市道穴吹27号線	計画	H23～H27	L= 507 m	60,000	30,000	当路線は、一級市道穴吹7号線から中野宮地区を結ぶ幹線道路である。地形が急峻で事業費が増額となったが、全線(一部幅員が足りる区間を除き)の改良により利便性の向上と通行の安全が図られた。
		実績	H23～H27	L= 419 m	81,168	40,584	
	市道穴吹149号線	計画	H23～H24	L= 600 m	20,000	10,000	当路線は、一級河川吉野川堤天占用道路であり、老朽化による舗装修繕工事を実施した。一部区間において既存舗装での対応可能箇所を不施工とする事で事業の効率化が図られた。
		実績	H23	L= 600 m	12,354	6,177	
市道穴吹354号線	計画	H23～H27	L= 1,901 m	40,000	20,000	当路線は穴吹町宮ノ下地区と市場地区を結ぶ主要幹線道路であり、舗装の老朽化による舗装修繕工事を実施した。一部延長を追加して事業を実施した結果、当初目標は達成された。	
	実績	H23～H27	L= 2,101 m	56,564	28,282		
市道穴吹440号線	計画	H23～H27	L= 1,418 m	40,000	20,000	当路線は、穴吹町瀨名地区内の旧農免農道である。老朽化による舗装修繕工事を実施した。一部計画区間に路体の軟弱箇所があり、補強工のため事業費の増額となったが、計画は概ね達成された。	
	実績	H23～H27	L= 1,518 m	44,544	22,272		
市道弓道(橋梁)	計画	H25～H26	L= 67 m	320,000	160,000	当橋梁は、弓道地区の主要生活道路の橋梁である。計画以来工法検討を重ねた結果、既存部分を活用することで、大幅なコスト削減と工期の短縮が図られ、事業の目的も達成された。	
	実績	H24～H26	L= 35 m	76,600	38,300		

施設の種類	路線名		事業期間	事業量	事業費(千円)	交付金(千円)	実施結果
市道	市道内宇夫(橋梁)	計画	H24	L= 12 m	50,000	25,000	当橋梁は、内宇夫地区の主要生活道路の橋梁である。工法検討の結果、橋の既存部分を活用することで、コスト削減と工期の短縮が図れ、事業の目的も達成された。
		実績	H24	L= 12 m	20,000	10,000	
	市道木屋平147号線	計画	H23	L= 324 m	7,000	3,500	当路線は、国道492号から木屋平川上地区へ通じる幹線道路であり、老朽化による舗装修繕工事を実施した。一部区間において既存舗装での対応可能箇所を不施工とすることで事業の効率化が図られた。
		実績	H23	L= 324 m	7,000	3,500	
	市道木屋平2号線	計画	H23 ~ H25	L= 947 m	24,000	12,000	当路線は、木屋平南張地区の生活道路で、主要林道へ通じる幹線道路である。老朽化による舗装修繕工事を実施したが、一部計画区間に路体の軟弱箇所があり、補強工のため事業費の増額となった。
		実績	H23 ~ H27	L= 1,221 m	29,222	14,611	
	市道木屋平104号線	計画	H23 ~ H25	L= 1,241 m	24,000	12,000	当路線は、木屋平森遠地区の生活道路で、主要林道へ通じる幹線道路である。老朽化による舗装修繕工事を実施したが、一部計画区間に側溝未整備箇所があり、対策のため事業費の増額となった。
		実績	H23 ~ H26	L= 1,506 m	28,000	14,000	
	市道木屋平119号線	計画	H26 ~ H27	L= 755 m	30,000	15,000	当路線は、木屋平谷口カケ地区の幹線道路で、主要林道へ通じる幹線道路である。老朽化による舗装修繕工事を実施したが、この計画区間だけでは十分な効果が得られず、更なる計画が求められている。
		実績	H24 ~ H27	L= 853 m	39,042	19,521	
	市道木屋平82号線	計画	H27	L= 422 m	10,000	5,000	当路線は、木屋平大北地区の幹線道路である。老朽化による路面の損傷が激しく、年次的に舗装修繕工事を実施した。事業を実施した結果、概ね事業目標は達成された。
		実績	H24	L= 422 m	11,000	5,500	
林道	林道木屋平木沢線(開設)	計画	H23 ~ H24	L= 1,065 m	217,000	128,715	林道の開設により、森林施業などの効果が得られた。また、スーパー林道に連絡し、剣山山系の新たな観光のルートが整備された。
		実績	H23 ~ H24	L= 1,065 m	217,000	128,715	
	林道田野内杖立線(開設)	計画	H23 ~ H27	L= 1,238 m	365,000	216,125	林道開設により、森林施業の効率化が図られ、搬出間伐や伐採が進み、資源の有効利用が進んでいる。今後開設延長が伸びることにより、さらなる施業の効率化や地域間のネットワーク化が推進される。
		実績	H23 ~ H27	L= 1,365 m	466,000	275,715	
	林道梶山内田線(開設)	計画	H23 ~ H27	L= 1,270 m	330,000	195,475	林道開設により、森林施業の効率化が図られ、搬出間伐や伐採が進み、資源の有効利用が進んでいる。森林組合等の事業体による間伐や小規模皆伐の計画地があり早期開設が望まれている。
		実績	H23 ~ H27	L= 1,189 m	360,000	213,275	
	林道高越二戸線(開設)	計画	H23 ~ H27	L= 1,071 m	305,000	180,575	林道開設により、森林施業の効果が得られ、資源の有効利用が進んでいる。猿飼工区沿線には、徳島森林づくり推進機構や県営林など搬出間伐地があり早急な開設が望まれている。
		実績	H23 ~ H27	L= 919 m	229,000	135,735	
	林道今丸線(開設)	計画	H23	L= 392 m	60,000	30,000	林道の開設により森林施業などの効果が得られた。また、地域の森林施業の中核道として利用されるだけでなく、神山町の林道と結ぶ迂回路として利用されるなど、災害時における重要な避難道となっている。
		実績	H23	L= 392 m	60,000	30,000	
	林道谷口カケ線(開設)	計画	H24 ~ H27	L= 456 m	170,000	85,000	当路線は、森林施業が必要な森林面積が218haあり、基盤整備を進めることにより、間伐等を促進してきた。今後、集落間を結ぶ重要なアクセス道としての役割を担う路線であり早急な開設が望まれる。
		実績	H24 ~ H27	L= 450 m	170,000	85,000	
	林道岩壁線(開設)	計画	H24 ~ H27	L= 348 m	120,000	60,000	当路線は森林施業の蓄積が高く供用開始後は搬出間伐等の森林整備が進んでいる。川上集落と国道492号を連絡しており災害時の避難路・迂回路としての重要な役割を担うため早急な全線開通が必要である。
		実績	H24 ~ H27	L= 399 m	120,000	60,000	

施設の種類	路線名		事業期間	事業量	事業費(千円)	交付金(千円)	実施結果
林道	林道北又剪字線(開設)	計画	H23	L= 140 m	23,000	11,500	林道開設により基盤整備を行ったところ、森林へのアクセス向上と森林施業の効率化、施業の推進が図られ、地場産業の活性化に繋がり事業の目的も達成された。 林道開設により基盤整備を行ったところ、間伐や搬出間伐を実施してきた。今後も、延長を伸ばすことにより、搬出間伐が実施され木材生産量の増産が図られるため、早急な基盤整備が必要である。 林道開設により基盤整備を行ったところ、森林施業などの効果があった。林業機械を利用し効率的な施業を実施するためにも早急な基盤整備が必要である。 林道の整備を行ったことにより、森林へのアクセス効率化が図られた。また、迂回路としての機能の向上が図られた。
		実績	H23	L= 140 m	23,000	11,500	
	林道大谷山線(開設)	計画	H23 ~ H27	L= 576 m	140,000	70,000	
		実績	H23 ~ H27	L= 521 m	140,000	70,000	
	林道半平杖立線(開設)	計画	H23 ~ H27	L= 599 m	190,000	95,000	
		実績	H23 ~ H27	L= 561 m	182,200	91,100	
	林道木屋平木沢線(舗装)	計画	H25 ~ H27	L= 3,314 m	96,000	48,000	
		実績	H25 ~ H27	L= 3,257 m	87,000	43,500	

(2) 汚水処理施設整備交付金を活用する事業

施設の種類		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計	実施結果
公共下水道	計画(千円)	200,000	58,600	24,000			282,600	平成23~25年度にかけて、公共下水道の事業認可区域である穴吹処理区の整備を完了し、汚水処理人口463人の普及が図られた。
	実績(千円)	200,000	58,600	24,000			282,600	
	交付金(千円)	100,000	29,300	12,000			141,300	
浄化槽 (個人設置型)	計画(千円)	27,522	33,687	27,522	9,909	27,522	126,162	平成23~27年度にかけて、美馬市内全域(公共下水道事業認可区域と農業集落排水処理区域を除く)で設置される合併処理浄化槽の設置者に対し、概ね計画どおり浄化槽設置補助金の交付を行い、処理人口1,865人の整備が図られた。
	実績(千円)	26,412	17,186	23,067	23,958	23,752	114,375	
	計画(基)	94	64	86	88	100	432	
	実績(基)	94	64	86	88	81	413	
	交付金(千円)	9,174	11,229	9,174	3,303	5,245	38,125	

4. 総合評価および今後の方向性

市道については、改良・舗装を早期に実施することで、市民生活における利便性の向上などに一定の効果があったものの、路線全体の改良・舗装の完了にまで至らなかったことから、観光・交流拠点へのアクセス性向上や集落間のネットワーク化が今後の課題として残っている。また、林道については、早期の開設・舗装により、森林施業の効率化をはじめ、迂回路の確保など生活道としての効用についても向上を図ることができたが、木材価格の低迷の影響などにより、計画で目標とした森林整備面積を達成することができなかった。

一方、公共下水道については、穴吹処理区の整備が完了し、合併処理浄化槽の整備促進とあわせて処理人口の増加が図られた。

今後は、成果と課題を整理し、評価結果を次期計画に反映したい。